

1. 科目名 (単位数)	保育表現技術演習 (2 単位)		3. 科目番号	JNNT2419
2. 授業担当教員	林 麻由美			
4. 授業形態	演習・グループ活動等		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	保育表現技術演習教科は保育における表現技術を学習し、保育に関する基礎理論、保育内容、保育技能等、学習した知識・技能をこの保育表現技術の中で活かし、それらの体験を通して、保育における表現技術をスキルアップし、総合的に深めていくことを目的としている。同時に保育者にもとめられる人間性の醸成をはかっていくものである。			
8. 学習目標	1. 保育者には総合的な表現力（身体表現・言語表現・音楽表現・造形表現）を身につける。 2. 子どもにとって「保育者は良いモデルになること」になるためにはどうすればよいかを習得する。 3. 保育者は受容が大切であることを理解する。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 授業内容に即しての活動準備 2. 発表の準備			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】改訂 『うたっておどっもおもちゃ箱1』教育芸術社 2014 【参考書】改訂 幼稚園教諭・保育士養成課程『幼児のための音楽教育』教育芸術社 2018			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 総合的な表現力を身につけたか 2. 保育者として必要な表現力について理解し、自身の表現技術を高めることができたか ○評定の方法 保育教材制作・実施計画書の作成 20% 保育教材実践プレゼンテーション 60%、 振り返りシートの作成・授業への取り組み 20%			
12. 受講生への メッセージ	学習目標が達成できるよう努力しましょう。保育者として必要な知識と表現技術を身につけましょう。			
13. オフィスアワー	授業内で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション (シラバス説明・授業概要)	事前学習	シラバスを確認しておく。	
		事後学習	保育者表現技術の理解を深める。	
第2回	歌唱に基づいた表現技術①手遊び、季節の歌など	事前学習	手遊びの練習をする。	
		事後学習	手遊びの復習をする。	
第3回	歌唱に基づいた表現技術②生活の歌、絵描き歌など	事前学習	歌唱に慣れる。	
		事後学習	授業の復習をする。	
第4回	「子どもの歌」の弾き歌いの練習の組み立てについて	事前学習	手遊びの練習をする。	
		事後学習	授業の復習をする。	
第5回	「子どもの歌」の弾き歌い技術演習 左手と歌①	事前学習	課題曲の歌の練習。左手和音の確認。	
		事後学習	授業の復習をする。	
第6回	「子どもの歌」の弾き歌い技術演習 左手と歌②	事前学習	課題曲の歌の練習。左手和音の確認。	
		事後学習	授業の復習をする。	
第7回	「子どもの歌」の弾き歌い技術演習 右手と歌①	事前学習	課題曲右手のメロディを弾けるようにしておく。	
		事後学習	授業の復習をする。	
第8回	「子どもの歌」の弾き歌い技術演習 右手と歌②	事前学習	課題曲右手のメロディを弾けるようにしておく。	
		事後学習	授業の復習をする。	
第9回	「子どもの歌」の弾き歌い技術演習まとめ	事前学習	弾き歌いの復習をする。	
		事後学習	これまでに学習した弾き歌いの復習をする。	
第10回	「子どもの歌」の歴史について	事前学習	様々な「子どもの歌」を歌う。	
		事後学習	授業の復習をする。	
第11回	「子どもの歌」からイメージした平面制作	事前学習	材料の準備。様々な歌を歌う。構想を練る。	
		事後学習	平面制作を完成させる。	
第12回	「子どもの歌」からイメージした平面制作に関するお話作り	事前学習	平面制作を完成させ、お話を考える。	
		事後学習	発表の準備をする。	
第13回	発表会	事前学習	発表の準備をする。	
		事後学習	振り返りシートの作成	
第14回	「子どもの歌」にアプローチする発声法など	事前学習	身体をリラックスさせ、歌う準備をする。	
		事後学習	振り返りシートの作成	
第15回	保育表現技術演習のまとめ	事前学習	保育表現技術の授業全体を通してのまとめ	
		事後学習	保育表現技術の授業全体を通してのまとめ	